

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部地域づくり課		■担当係	地域協働係
■評価事業名称	コミュニティ助成事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090100 - 209	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	01 市民主体によるまちづくりの推進		
	■施策	01 市民の参画と協働によるまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業(宝くじ助成)を活用し、地域コミュニティ団体へ助成をし地域コミュニティの活性化を図る。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	コミュニティ助成事業費補助金	申請者	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般コミュニティ助成申請5件</li> <li>コミュニティセンター助成申請2件</li> <li>青少年育成事業助成申請1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般コミュニティ助成(申請5件/採択1件)</li> <li>①江釣子7区自治会(太鼓等備品の整備事業)</li> <li>コミュニティセンター助成(申請2件/採択1件)②沢目公民館</li> <li>青少年健全育成事業助成(申請1件/採択1件)③更木町振興協議会</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	4,909	13,513	3,329	18,432	
人件費	1,345	1,266	3,079	3,434	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,254	14,779	6,408	21,866	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	申請事業が採択されること	実施2件/申請4件	実施2件/申請6件	実施2件/申請4件	実施3件/申請8件	申請に対する事業実施件数(採択は、一般コミュニティ助成2件程度、コミュニティセンター助成は数年に1件程度であり毎年100%の採択は難しい。)

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

助成の周知を効率的に行った結果、申請件数が増加した。

### 問題点・課題等

周知期間が短いことから、地域で申請できるように、事務処理を迅速に行う必要がある。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

地域で検討や申請をするための期間を適切に設けるために、事務の効率化を図る。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了